

令和5年度 中村高等学校 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

卒業時の目標：共通テストレベルの英語を7割程度以上理解（聞く・読む）でき、必要に応じて支援を活用すれば、社会の多様な話題について英語で論理的にやりとり（話す・書く）することができる。

学年	聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと	外部指標
3年	・日常的な話題について、ピクチャーカードなどの支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 ・地域活性化等の社会的な話題について、ピクチャーカードなどの支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 ・地域活性化等の社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 ・社会の多様な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝え合うことができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 ・社会の多様な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 ・社会の多様な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	CEFR B1 CEFR-J B1-1 ～B1-2 英検2級 共通テスト L/R で正答率 7割程度
評価場面	リスニングテスト / 定期考査	定期考査	ディベート / ディスカッション	スピーチ（質疑応答を含む）	エッセイライティング / 定期考査	
2年	・日常的な話題について、ピクチャーカードなどの支援を必要に応じて活用することで、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 ・人種差別問題等の社会的な話題について、ピクチャーカードなどの支援を一定活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援を必要に応じて活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 ・人種差別問題等の社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる。 ・総合探求の個人探究課題等の社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して話して伝え合うことができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 ・総合探求の個人探究課題等の社会的な話題について、使用する語句や文などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して話して伝えることができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、必要に応じて支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。 ・総合探求の個人探究課題等の社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。	CEFR A2 CEFR-J A2-2 英検準2級
評価場面	リスニングテスト / 定期考査	定期考査	ディベート / ディスカッション	スピーチ / プレゼンテーション(個人・ペア)	エッセイライティング / 定期考査	
1年	・日常的な話題について、ピクチャーカードなどの支援を一定活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 ・エネルギー問題などの社会的な話題について、ピクチャーカードなどの支援を十分に活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 ・エネルギー問題などの社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・学校生活などの日常적인話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて情報や考えなどを話して伝え合うことができる。 ・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して話して伝え合うことができる。	・学校生活などの日常적인話題について、使用する語句や文などにおいて一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを話して伝え合うことができる。 ・社会的な話題について、使用する語句や文などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して話して伝えることができる。	・学校生活などの日常적인話題について、使用する語句や文などにおいて一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。 ・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。	CEFR A1 CEFR-J A2-1 英検3級
評価場面	リスニングテスト / 定期考査	定期考査	ペアトーク / ミニディベート	スピーチ / プレゼンテーション	スピーチ原稿 / 定期考査	

